

科目名	病態情報解析特論 (Advanced Study on Pathophysiological Laboratory Sciences)			科目コード	M318
選択区分	選択	履修時期	1前	単位数 (時間)	2単位 (30時間)
担当教員	佐田 榮司・山岡 源治・高田 智世			関連DP	医③④
授業概要	代表的な疾患および病態をモデルケースとして扱い、様々な疾患の病態および解析方法について教授する。				
授業目標	血液、体液等の生体成分を様々な方法で解析し、得られた情報から患者病態を深く探求して疾病の本態、患者の状態について解明する手法を理解する。また、種々の病態について分子、細胞、臓器、個体における生体情報を、遺伝子、染色体、蛋白、細胞レベルで解析・解明する方法および得られた結果の解釈、意味づけができるようになる。さらに、未知な病態を知るための新たな解析法開発の現状を理解することで今後の臨床検査の発展についても考察できる。				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1	概説	病態情報解析法概説	佐田榮司
2	代謝疾患 (糖尿病)	様々な病態における生体情報の解析方法とその結果の理解 1 糖尿病の病因・病態の解析	
3	脂質異常症	様々な病態における生体情報の解析方法とその結果の理解 2 脂質異常症の病因・病態解析	
4	免疫疾患	様々な病態における生体情報の解析方法とその結果の理解 3 自己免疫疾患：自己抗体産生機序	
5	アレルギー疾患	様々な病態における生体情報の解析方法とその結果の理解 4 アレルギー疾患：アレルギーの機序	
6	遺伝子・染色体検査	遺伝子検査、染色体解析の理論、応用、発展	高田智世
7	遺伝性疾患 I	様々な病態における生体情報の解析方法とその結果の理解 5 遺伝子、染色体異常によっておこる疾患 遺伝性疾患 I	
8	遺伝性疾患 II	” 遺伝子、染色体異常によっておこる疾患 遺伝性疾患 II	
9	悪性腫瘍 I	様々な病態における生体情報の解析方法とその結果の理解 6 遺伝子異常が関係する疾患 悪性腫瘍 I	
10	悪性腫瘍 II	” 遺伝子異常が関係する疾患 悪性腫瘍 II	
11	血液疾患 (概説)	血液形態検査、細胞抗原検査概説	山岡源治
12	血液疾患 (形態異常 I)	様々な病態における生体情報の解析方法とその結果の理解 7 血球形態異常を伴う血液疾患 I	
13	血液疾患 (形態異常 II)	” 血球形態異常を伴う血液疾患 II	
14	細胞抗原解析	様々な病態における生体情報の解析方法とその結果の理解 8 細胞抗原解析を要する血液疾患	
15	総括	新たな病態解析法開発の現状と今後の展望	佐田榮司
	成績評価方法	最終レポート (佐田分 40%、高田分 30%、山岡 30%) の割合で評価する。	
	必携あるいは参考図書・文献	参考図書 Longo, Dan L (EDT):Harrison's Principles of Internal Medicine, 18th Edition, McGraw-Hill	
	授業時間外の学習について		
	関連科目	301 臨床検査技術学特論、302 医療技術科学研究方法論、305 遺伝子生命科学特論、307 分子細胞生物学特論、319 病態情報解析演習	
	備 考	ディスカッションを通じて主体的、積極的な講義への参加を希望する。	